SDGs新聞	三菱地所レジデンス株式会社
被災地で非常に困った、トイレの準備を	

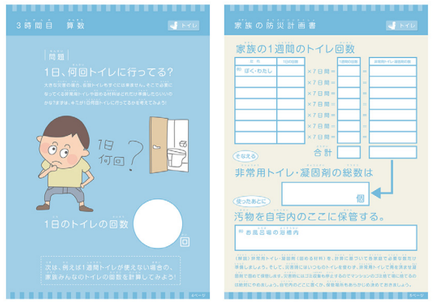
SDGsラジオを読んでみよう！

想像してみてください。突然、トイレが使えなくなったら困りますよね？
マンションなどの住まいを作る会社「三菱地所レジデンス」では、「そなえるドリル」という防災ツールを作り、
人々に災害に備えてもらうための活動を続けています。
その中で取り上げている内容を、ひとつご紹介します。
地震や津波などの災害が起きたときには、トイレが使用できない可能性があります。
過去の災害では、家の周りでトイレをしたり、トイレの回数を減らすために食べること、飲むことを控える人もいました。
だからこそ、非常用トイレを準備していくことは大切。また、いくつ用意しておくのかもポイント。
例えば、1週間トイレが使えなかったら、家族みんなで何個必要なのか？家族で話してみてくださいね。
もしものときには、今の備えが大事です。「そなえるドリル」は、インターネットからも見られますので、ぜひ検索して、災害に備えましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：「そなえるドリル」の使い方・ダウンロード
（三菱地所レジデンスHPより）

地震や津波、大雨などの災害が起きたときにはさまざまな問題が生まれます。例えば、電気や水道、ガスが止まったり、食べ物がなかなか手に入らなかったり、これまで当たり前だったことが急にできなくなることがあります。災害が起きたときには、水道が止まってしまうことにより、トイレが使えなくなる可能性があり、これも被災地が抱える大きな問題のひとつです。過去にあった災害では、家の周りでトイレをしたり、中にはトイレの回数を減らすために食事を控える人もいました。災害時でもトイレは我慢できません。トイレを我慢すると体調が悪くなってしまう可能性もあります。そのような災害時に起こるさまざまな問題に備えるために、マンションなどの住まいを作る会社「三菱地所レジデンス」が作ったのが、「そなえるドリル」です。



画像参照：「そなえるドリル」（三菱地所レジデンスHPより）

「そなえるドリル」では、「非常用トイレ」についても取り上げられています。その一部をここで紹介します。家族に必要な非常用トイレの数は分かりますか？ここで大切なのが、非常用トイレはどれぐらい必要なのか？を考えることです。家族みんなが1日何回ぐらいトイレに行くかを調べて、1週間に必要な量の非常用トイレを用意しましょう。また、「そなえるドリル」には非常用トイレの使い方をはじめ、災害時のトイレにまつわる問題とその解決方法を紹介しています。「そなえるドリル」は、インターネットからも手軽に見られるので、ぜひ、家族で話し合ってみてください。今からしっかりと準備をして、正しい知識を身につけることが大切です。

キーワード

災害

地震や台風、洪水などが被害をもたらすことを「災害」と言います。これらは人々の生活に大きな影響を与え、家や道路を壊したり、けが人が出ることもあります。

被災地

地震や台風などの自然災害が起きて、人々の生活が大きく影響を受けた地域のことです。建物が壊れたり、道が使えなくなったりして、普段の生活ができなくなります。

非常用トイレ

災害などの緊急時に使うための特別なトイレです。非常用トイレの凝固剤（ぎょうこざい）は、水を使わずに固まります。

対象ゴール

みなさんにできること！	
災害に備えて、非常用トイレを用意しておきましょう。	
おさらい	● 災害時には水道が止まることで、トイレが止まる可能性がある。 ● 災害時に向けて、非常用トイレを用意しておくことが大切。 ● 三菱地所レジデンスが作った「そなえるドリル」で、家族の備えが考えられる。

メモ

SDGsラジオ